

# あおもり民医連

## 謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



青森県民主医療機関連合会  
会長 田代 実

県連理事会は昨年七月に二年間の重点として「五十四期の課題と方針」を確認しました。それは以下の十項目です。

- 一. 九条改憲阻止、三千万署名の達成
- 二. 津軽保健生協の経営課題での前進
- 三. “二つの柱”に基づいた医療・介護活動の充実・発展
- 四. 医師の確保と養成
- 五. 民医連の医療・介護活動、事業と運動を担う職員の育成
- 六. 次代を担う幹部の養成と配置
- 七. 人権としての社会保障を求める総がかり行動
- 八. 共同組織、地域での共同とまちづくり
- 九. 国政選挙等を見据えた取り組み／職員の主権者としての成長への支援
- 十. 県連第四次中長期計画の検討

新年あけましておめでとうございます。戦後七十三年を経て「現在は本当に戦後か？戦前ではないのか？」といった日本社会の大きな変化が進行しつつあります。そうした中、昨年は三千万署名をはじめとした平和を願う全国の運動で、国会での九条改憲決議を許しませんでした。また、翁長知事の急逝という悲しい出来事もありましたが、辺野古新基地建設を許さない新たな沖縄県知事が誕生したことも、平和な日本を創るうえで大きな一歩でした。この間の情勢を見ても、「戦争に向かう国づくり」と「人権としての社会保障の実現」とは相いれないものであることがいよいよ明らかとなっております。私たちの先輩が大きな苦難と思索の中で練り上げ、実質化してきた日本国憲法と民医連綱領を、私たち自身が自らのものにしていくことが、いまあらためて大切なことだと考えます。

以上の方針に基づく活動は、まだ端緒にすぎたところです。今年も県連各事業所の職員みなさんと共に、学び成長しながら、一つ一つの課題に取り組んでいきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひします。

役職名	氏名	職種
会長	田代 実	医師
副会長	横田 祐介	医師
事務局長	伊藤 真弘	医師
事務局次長	佐藤 真人	事務
事務局次長	木村 儀弘	事務
事務局次長	篠原 奈緒	事務
理事	石塚 理仁	医師
理事	石谷 雅人	事務
理事	泉島 雅人	医師
理事	磯島 雅人	事務
理事	伊藤 雄司	事務
理事	伊藤 礼子	事務
理事	小野 尚樹	事務
理事	角田 尚樹	事務
理事	加藤 あけみ	事務
理事	古館 正志	事務
理事	今 淳一	事務
理事	齊藤 仁	事務
理事	坂戸 慶一郎	事務
理事	崎野 修	事務
理事	佐々木 良範	作業療法士
理事	獅子内 和子	事務
理事	砂川 典満	事務
理事	関谷 修	医師
理事	相馬 裕	医師
理事	相馬 裕	医師
理事	副田 幸一	事務
理事	田中 幸一	事務
理事	竹内 幸一	事務
理事	對馬 圭	理化学療法士
理事	寺島 由美	看護師
理事	百成 公美	助産師
理事	奈良原 恵	医師
理事	野村 美恵子	看護師
理事	波多野 宏行	事務
理事	原 徹	事務
理事	外 清仁	事務
理事	三浦 良成	事務
理事	三浦 靖子	看護師
理事	宮本 達也	事務
理事	柳 健俊	事務
理事	八島 将仁	事務
理事	山内 潤	事務
理事	山崎 英二	事務
理事	菊池 敏子	事務
理事	村上 渡	事務
会計監査		
会計監査		

写真撮影：佐藤武則

日頃のご協力・ご愛読に感謝して **抽選で22名にお年玉プレゼント** 応募は定期便・封書・FAXで！  
 応募用紙及び応募の詳細は本紙10面に掲載しています。抽選結果は次号（3月15日発行）に掲載予定。応募締切／2019年2月13日





# 各県連委員会

# 新委員長より今年の抱負

## 経営委員会



経営委員会委員長  
(青森保健生協本部)

宮本達也

全日本民医連の経営実態調査により  
ますと、約三分の二の法人が経常利益  
予算を確保できていないという深刻な  
状況であり、五年連続で経常利益率が  
一%にも満たない厳しい経営結果と  
なっています。

青森県民医連の加盟法人も全国と同  
様に厳しい経営状況であり、特に五十  
年に一度といわれる健生病院新築移転  
事業等を経た津軽保健生協の経営改善  
は県連的課題の一つです。経営委員会  
としても、全ての法人で必要利益の確  
保に向けた分析と提言、トップマネジ  
メント機能の強化、全職員参加の経営  
の追求、事務幹部育成を重視し取り組  
んできました。

今年十月に安倍政権は消費税十%への増税を狙っています。全日本民医連全法人の経常利益を合計すると三十四億円、その全てが吹き飛ぶほどの深刻な経営的打撃を受けることになりま  
す。「無差別平等の医療と介護・福祉の実現」をめざし、受療権と健康権を守る民医連の事業と経営を守り抜くために、直面している経営困難を何としても打開していきましょう。

## 大增税・大軍拡の政治から命と健康を守ろう!

## 社保委員会



社保委員会委員長  
(大野あけほの薬局)

柳谷 円

新年あけましておめでとうございます。  
昨年暮れ、政府は二〇一九年度予算案を閣議決定しました。軍事費は過去最大の五兆二千五百七十四億円。一方、社会保障は自然増を圧縮し四千八百億円に削り込みました。後期高齢者に適用されてきた保険料の特例措置を廃止し、生活保護は食費や光熱費にあてる生活扶助費を昨年に引き続き削減し、消費税を十%に強行しようとしています。

病を患っても患者にならない病人や、「気になる患者ノート」の患者たちはどんな思いで年を越されたのか。私たちが「もともと困難な立場の人びと」の目線に立ち寄り添うとき、対極にある戦争を反対しないことはありえないし、政治と無関係でもいられませんか。

しかし、今の政治のもとでは、私たちが現場で努力するだけでは、地域の人々の命と健康を守れません。

今年春に統一地方選挙、夏は参議院選挙があります。私たちの思いを届ける議員を増やし「もともと困難な立場の人びと」の命と健康をみんなで守りましょう。



## 「職員育成の一環」の場となる「自主的活動」に

## 青年委員会



青年委員会委員長  
(ルバーステーションはるかぜ)

山崎 英二

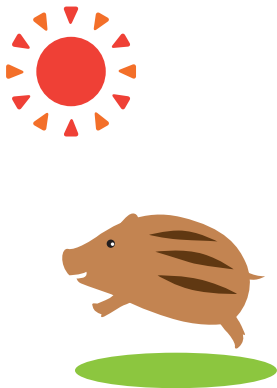
青年委員会は今期より委員長ほか、多くの職員の入替わりがあったこともあり、十月にはピースメイト委員会、青年ジャンボリー小委員会を合わせた拡大青年委員会を開き、前期からの活動の引き継ぎと今期の活動のスタートを始めています。

昨年十一月には全日本民医連で九年ぶりとなる青年援助担当者交流集會が行われ、①懇切丁寧な援助を進める体制の追求、②日常に接する職場責任者の役割の発揮、③二〇一九年全国ジャンボリー岐阜への結集、④十年を迎える民医連綱領の学び、の四点の行動提起がされました。全国の報告では青年活動に対する考え方や捉え方が「職員育成の一環」なのか「自主的活動」なのかを問われているが、青森では、今一度、自主的活動の底力が問われていると感じています。

青年委員会を中心に行動提起を受けとめ、皆さんと共に県連全体の活気を更に盛り上げることのできるよう創造的に活動を進めていきたいと思っております。本年もよろしくお願ひいたします。



## 民医連の看護の継承と発展をめざして



あけましておめでとうございます。医療・看護をめぐる情勢がますます厳しくなっている中、県連で最も大きい看護集団がその力を結集し、「医療・介護活動の二つの柱」を基軸に看護活動を展開していくことが求められています。

今年これまでの「県連看護政策」を見直し、今後五年間の方向を見据え新たな展望をつくりだすために「新看護政策」の策定に取り組みます。また、卒後研修、看護介護研究交流集会、看護管理者研修などを開催し、大いに学び合おうと思います。

民医連の看護実践の基本は三つの視点（患者の立場に立つ・患者の要求から出発する・患者とともにたたかう）と四つの優待（総合性・継続性、無差別性、民主性、人権を守る運動）です。今後も、私たちは事例にこだわり、現場から地域に発信していきたいと思えます。

イノシシのように勢いをつけ、ウリ坊のように愛らしく看護委員会は民医連の看護の継承・発展に向けて頑張ります！

看護委員会



看護委員会委員長  
(藤代健生病院)  
伊藤 礼子

## 誰もが安心して暮らせる まちづくりの実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。介護福祉士委員会は今期で二期目と新しい委員会となっております。

現在、介護福祉士委員会で、介護安全に重点を置き介護事業所独自の事故報告書や事故レベルの区分などを行ってきたが、長野の特養あずみの里の事件です。全国どの介護事業所でも起こりうる事故に対し、警察が介入し、検察は施設職員を意地でも有罪にしようとしています。この事件が有罪になると、全国の介護現場では、個人の尊厳を蔑ろにした介護が始まってしまいます。介護福祉士委員会では、今後の介護の未来がかかった裁判を更に支援していきます。また、介護ウエーブを通じて介護の魅力を発信しながら、社会保障改善を強く訴え、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた取り組みを強化していきたいと思えます。

介護福祉士委員会



介護福祉士委員会委員長  
(デイサービスつづみ)  
石塚 理仁

## 青森民医連を担う薬剤師となる 薬学生を支え、育てる

現在、薬学生の置かれている状況は一昔前よりも一層厳しいものになっています。私が学生だった十年前は「奨学生会議」や「夏のつどい」などに参加する余裕があり、楽しく学ばせていただいた記憶があります。今の学生は夏休みや春休みの期間が短く、再試験に追われてほとんど休みがない場合もあります。進級できずに退学する学生も増えている傾向があります。つどいなどの企画にも参加しづらくなり、奨学生が一つの場に集まるのが以前より難しくなってきました。当委員会ではそのような状況を鑑み「薬剤師になれるよう薬学生を支えること」を第一に考えています。LINEを使って定期的な連絡、年二回の面談、奨学生会議での学習会、薬学生のつどいへの誘い、奨学生ニュースでの連載「先輩が教える勉強のコツ」、夏休みを利用した職場体験などで学生との関わりを続けていきます。職場体験や高校生薬剤師体験などでは、学生は緊張しているのに温かい目で迎えていただけると大変助かります。将来民医連職員となる医系奨学生を皆で支えていきましょう！

薬学生小委員会



薬学生小委員会委員長  
(あけぼの薬局新町店)  
藤田 光希



2018年12月青森大学奨学生会議の様子



2018年高校生一日体験会八戸会場の様子



# 第九回原発核燃を考える大学学習会 開催

## 青森そして日本の未来

十一月九日(金)花岡農村改善センターにて、第九回原発核燃を考える大学学習会を開催し、百二十四名が参加しました。



講師 諏訪益一氏

今回は青森の原発・核燃施設について、歴史・現状を把握して、原発ゼロへの運動を活発にする契機にすることを目標にし、三十二年間原発核燃施設に戦いを挑んできた一人として、諏訪益一氏に講師をお願いしました。諏訪氏は、今期で県議を交代する予定であり、運動のバトンを受け取り、つないでいく場にもしたいと考えました。

使用済み核燃料の処分に関連して、六ヶ所試験空洞が作られ、地層処分の実験が行われていることも、報告されました。県の原発事故の避難計画策定は、訓練の実態からも非現実的であること、医療、鉄道、施設などの費用など、原発・核燃マネーに依存してしまっている青森県の深刻な状況も再確認させられました。



壇上から参加者を撮影しました

各院所・職場で、今回の講演などを糧にして、大いに議論していきましょう。

(原発核燃問題対策委員会 委員長/百成公美)

## 2018年度 社会保障制度の充実を求める自治体キャラバン

◆◆ 安心の医療・介護求め 貧困なくす うねり 地域から! ◆◆

青森県社会保障推進協議会は、社会保障の充実を求めて県内四十市町村の自治体に対して統一した要請項目をピックアップして、意見交換を行う自治体キャラバンを十月二十九日よりスタートしました。懇談会での主な要求は国保・介護保険・生活保護・医療・国、県への意見を求める項目や、税の徴収や滞納や国保証の交付や減免申請の仕方など要求事項も多岐にわたりました。また昨年からの取り組んでいる就学援助・学校給食・子どもの貧困調査も継続的なアンケートとして取り組みました。昨年に続き大きな成果として、子どもの医療費無料給付制度の対象年齢を中学卒業あるいは高校卒業まで拡充した自治体や就学援助費の二月



した自治体(以前は六月支給)もありました。このように社会保障自治体キャラバンは、毎年の積み重ねで一歩ずつ着実に前進しております。また、今回の自治体キャラバンには各民医連事業所から十名を超える職員が参加し、自治体キャラバンの様子を事業所に持ち帰っています。参加した職員からは「自治体キャラバンは自分の成長にプラスになると確信した」との感想も寄せられています。今後自治体キャラバンを通じて、改善を求める運動を進めていきたいと考えています。

(青森県社会保障推進協議会 事務局長/木村儀弘)



自治体キャラバンの様子

# 北海道・東北地協SW中堅研修開催

10月19日・20日、健生病院を会場に北海道・東北地方協議会SW中堅研修・代表者会議を開催しました。



「判断能力が困難な人の意思決定支援」をテーマに講演とグループワークを行ない、各県連から四十名のソーシャルワーカーが参加し学習・交流を深めました。

一日目は、青森県生活と健康を守る会事務局長 神江美氏から「生健会SWとして大事にしてきたこと」について、津軽保健生協理事長 安田肇氏から「意思決定支援について」ご講演いただきました。

二日目のグループワークでは、業務の中で感じているジレンマとその解決方法について意見交換を行いました。

参加者からは「一人ひとりと向き合い目の前の人を助けるという大切なことを伝えてもらった」、「ソーシャルアクションの大切さを感じた」、「意思決定支援について原点に立ち返ることが出来た」、「勾配のないチーム作りを目指していけるのが民医連の良さ」、「本人の意志をないがしろにしていたのではと反省した」、「SWは退院させ屋ではない」という言葉にSWの役割



参加者集合写真

を改めて考えさせられた」などの感想が多く寄せられました。

グループワークでは、「地域は違うが悩みはどの地域でも同じだとわかった」、「県を超えて悩みを共有できるのは民医連の強みだと感じた」、「ソーシャルワーカーがどんな専門職であるか他職種に知ってもらう努力が必要と感じた」との意見が出されました。

今回、北海道・東北地協で中堅研修を行なうのは初めてでしたが、無事終えることができました。今回感じたことを今後の業務に活かしていければと思います。

(県連ソーシャルワーカー部会・藤代健生病院／竹田沙織)

## 県連第47回看護介護活動研究交流集会

11月4日(日)、青森県民医連第47回看護介護研究交流集会が開催され、152名が参加しました。テーマは『高めよう人間力2018 ～輝くのちに寄り添うために～』。記念講演は、岩手県碧祥寺住職・特別養護老人ホーム光寿苑総合施設長の太田宣承氏より『生き方=逝き方』と題して行われました。

(県連看護委員会／扇谷弥生)

太田氏の講演は大変好評でした。参加者からは「私たちが利用者に生きる希望を見出せる声掛けやケアを提供したいと感じた」、「待つ、間をとる、拝聴するを意識して患者さんに接していこうと思った」、「自己満足ではなく、相手の立場に立つことが大切だと思いました」、「改めて寄り添うとはなんなのか学べた」等の感想が寄せられました。

午後よりポスターセッションを開始し、その後三つの分科会(第一分科会「地域とつながれ看護と介護」、第二分科会「『生きる』を支える看護と介護」、第三分科会「きらりと輝け看護と介護」)に分かれ、症例・研究発表を行いました。

計二十演題の発表があり、活発な意見交換がされました。



ポスターセッションの様子



講師の太田宣承氏

## HPH学習会

～さあ始めよう、HPH活動～

11月16日、花岡農業改善センターにてHPH学習会を開催しました。職員134名が参加しました。講師に公益社団法人福岡医療団 理事長 舟越光彦先生を招き「さあ始めよう、HPH活動」と題してお話をいただきました。

今回の学習会は、今年度、県連に医話委員会が再結成されたことで企画され、これからの活動の糧となって欲しいと思っています。

参加者からは「具体的な取り組み事例の紹介もあり、わかりやすかった。」「共通のテーマ(喫煙を減らす、腰痛の実態調査)で職場ごとの取り組みを提

起したい。」「医療生協の健康チャレンジの取り組みと合わせ、職員としての運動の習慣を取り組むことが可能でないか。」などの感想が出されました。

今後、委員会として「青森県民連ヘルスプロモーション交流集会(仮)」の取り組みなども検討していきたいと思っています。



講師 公益社団法人福岡医療団 理事長 舟越光彦氏

(健生病院 総看護長／寺島由美)



# 必要利益が位置づいた予算作り・予算管理を



分散会討論の様子

経営検討会  
初日は、全日本  
本医連経営  
部の塩塚啓史  
副部長から予  
算編成と予算  
統制の重要性  
と具体的内  
容、必要利益  
の確保などについて問題提起がされま  
した。指定報告として青森県連内の三  
つの医科法人がこの間の経営の到達と  
中長期計画について報告。津軽保健生  
協では、上半期で経常利益が▲一四一  
百万円と予算を一八二百万円上回った  
こと、引き続き各事業所の経営改善に  
取り組み、二〇二〇年度で経常利益の  
黒字化をめざすこと、青森保健生協か  
らは、磐石な経営基盤を築く現預金の  
確保を必要利益に位置づけているこ  
と、八戸医療生協からは開設以来最大  
規模の赤字状態から経営を改善したと  
りくみについて報告  
がありました。ま  
た、特別報告として  
郡山医療生協から経  
営改善のとりくみの  
報告があり、二日目  
は分散会討論を行な  
いました。



101名が参加しました

十一月二日〜三日、北海道・  
東北地協の経営検討会  
(in弘前)に二〇一名参加。

(青森県民医連事務局  
／那須 稔)

## 社会保障大学習会開催

「世界最大の悲劇、それは無関心」

12月7日、浪岡中世の館にて県連社保委員会主催の社会保障大学習会を開催し、178名が参加しました。記念講演は医師でNPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏氏を講師に迎え、「ドクター本田の社会保障切り捨て日本への処方箋」をテーマにユーモアを交えお話しいただきました。



NPO法人医療制度研究会  
副理事長 本田 宏氏

本田先生は冒頭で、外科医としての経験から医師の絶対数不足への気づきをきっかけに今日まで医師増員と医療再生運動に取り組んできたことを紹介したのち、日本における「メディアの偏向報道」「国民のメディアリテラシー（情報を見きわめ、正しく理解する能力）の低さ」「明治から続く政府の“官尊民卑”思想」など指摘しました。政府の医療福祉後回しの政策はひも解くと明治時代に遡り、官尊民卑の思想が未だ続いている表れであると説いたうえで、医師数はOECD平均と比較しても絶対数が不

足していることはデータでも明らかなのに、政府は“不足ではなく偏在”と事実誤認の情報を発信する。医療費もドイツやスウェーデンなどの高齢化国に比べると伸び率は低いのに、政府はそのような不都合な情報は発信しない。マスメディアは政府の思惑をそのまま報道し、国民は「政府やメディアが嘘をつく訳がない」と信じて疑わない、と日本の国民性に疑問を投げかけ、「世界最大の悲劇、それは無関心。Don't EVER give up」との言葉を残し、講演を終えました。参加者からは「分かりやすく、医療を取り巻く情勢を理解できた」「積極的に社保運動に参加したい」などの感想が出されました。



学習会の様子

講演後は社保委員会から「憲法をくらしに生かす大運動を展開しよう」と、3,000万署名の成功に向けた取り組みやSDHの視点で日常の活動に励むこと、などの行動提起がなされ、参加者の拍手で確認し合いました。

私達が「自分一人の力で変わらない」とあきらめてしまえば、事態は悪化することでしょう。社会に関心を持つこと、おかしいと思ったら行動すること、それを強く感じた社保大学習会でした。

(社保委員会事務局長 青森保健生協組織部／伊藤雄司)



八戸医療生協ヘルパーステーション  
介護福祉士

ごとうはるえ  
年女 後藤 陽衣さん

- 1 入社して約3年、思い出は沢山のひととの「出会い」です。毎日沢山の刺激があり楽しく過ごしています。
- 2 新年の抱負は、いつでもどんな時でも笑顔を忘れずに頑張りたいです。



ファルマ浪岡薬局  
管理薬剤師

ふくし たかまさ  
年男 福士 隆政さん

- 1 私昭和57年4月青森保健生活協同組合協和病院に薬剤師として入社し今年で還暦を迎えます。一番の思い出は、当時県連的な政策として青森市で保険薬局の開業に向けて準備段階から立ち会ったことです。班会に出向き院内調剤から院外調剤に変えるメリットについてや理想とする保険薬局の有り方など、熱く語り、理解を得るため努力したことが思い出されます。
- 2 入職時から政府は社会保障費を削減し、当時の窓口負担は高齢者が無料、社保本人が1割の時代から現在は個人負担が増加の一方です。金の切れ目が命の切れ目とならないよう今年も民医連の魂である社保運動を頑張りたいと思います。



株式会社ファルマ 本部  
事務

あべ ゆきこ  
年女 阿部 由希子さん

- 1 新たなごへ挑戦の歩を踏み出すため、入職しました。戸惑いや不安も多くありましたが、周りの皆さんに支えていただきながら、日々頑張っています。
- 2 明るく、笑顔で何事にも前向きに頑張りたいです！また、必ず、ダイエットを成功させます！！



# 藤代健生病院 健康まつり開催!

十月二十日(土)、藤代健生病院にて、健康まつりが開催されました。この企画は藤代健生病院、藤代薬局、社会福祉法人花と地元支部である河西支部が共催で実施しており、今年で六回目となります。

当日は、千石副院長の開会あいさつの後、弘前市第二包括支援センターの佐藤晴樹センター長と、同職員の阿保大地さんを講師に、「介護保険制度の理解と地域包括支援センターの役割」という題で講演がありました。参加者からの感想では、介護保険の仕組みが難しかったので勉強になったという声などが多く寄せられました。また、病院の近所の方で、今まで健康まつりには参加していなかったが、介護保険の話を知ったため今回初めて参加したという方もおり、地域の方からの介護への関心の高さを感じました。その他、ファルマ職員による貯筋体操や、病院職員と組合員による健康チェック、藤代薬局によるサプリメント販売・お薬相談、社会福祉法人花によるバザーや農産物の販売など、様々な企画を実施しました。結果、参加目標の百名を大幅に超える約百三十名もの方に来場いただき、地域と事業所がひとつになって大いに盛り上がった健康まつりとなりました。

(藤代健生病院)

平井佑典



講演の様子

## —第2回 社会保障学校に高校生含め101名参加—

10月20日(土)、八戸市福祉公民館で今年度2回目の「社会保障学校」を開催し、組合員と一般の方、そして高校生や医療関係者総勢101名が参加しました。

『在宅医療ってなあに?』をテーマに、八戸生協診療所 原徹所長と訪問看護ステーション虹小山所長から、在宅医療の制度や日々携わる立場からの『思い』についてお話していただきました。

次にグループに分かれ、お菓子やお茶、コーヒーをいただきながらおしゃべりしました。参加者からは、

「初めて原先生のお話を聞いた」「在宅医療が看取りまで関わるほどの深



おしゃべりタイムの様子

さがあることに驚いた」などの感想が出されました。地元紙への告知とともにチラシを高校にも配布したことから、医療系の学校に進学を希望する高校生が5名参加しました。

(八戸医療生協 組合員活動部長 / 宮沢 守)



在宅医療に関する報告をする原 徹所長

## 第17回 あおもり協立病院 公開倫理講座

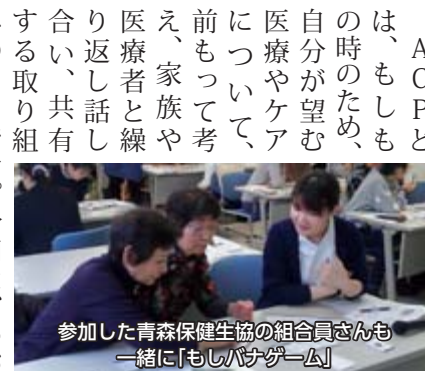
### 「アドバンス・ケア・プランニング (ACP) について」

12月1日(土) 第17回公開倫理講座を開催し、組合員11名を含む、法人内外各事業所から46名が参加しました。

(あおもり協立病院 医療倫理委員会/橋 千景)

「ACPとは、自分の意思を元気づけながら、残しておきたい」などの感想が聞かれました。厚労省ではACP普及のために、わかりやすい名称を募集し「ACPⅡ人生会議」と決まったそうです。信頼できる家族や友人、そして医療関係者と、少しずつ話し合うきっかけにしてほしいです。

「初めて原先生のお話を聞いた」「在宅医療が看取りまで関わるほどの深さがあることに驚いた」などの感想が出されました。地元紙への告知とともにチラシを高校にも配布したことから、医療系の学校に進学を希望する高校生が5名参加しました。



参加した青森保健生協の組合員さんと一緒に「もしバナゲーム」



藤代健生病院  
管理栄養士

はなだ まみ  
年女 花田 真美さん

① 東日本大震災の年に入社し、あれから何年とニュースで見える度に自分の入職年数を思います。  
② 亥年生まれの特徴は「熱心で優しく、騙されやすい正直者」だそうです。騙されないように周囲と良く相談し、何事にも熱心に取り組み、正直でありたいと思います!



健生病院  
事務

ささき ゆうと  
年男 佐々木 悠人さん

① 2018年4月に入社し、業務量とわからない分野で頭がパンクしそうになることもありましたが、毎日刺激的な日々を送ることができています。  
② 2019年はさらにレベルアップできるように、がむしゃらに頑張りたいと思います。



青森民医連  
事務局長

さとう まさと  
年男 佐藤 真人さん

① 入社して約24年、経理・医学対・医事・診療所と介護の管理、などさせていただけました。医師をはじめ職員のみなさん、組合員さん、ありがとうございました。  
② 今の任務を1日も早くやり終えたいです。ダイエツト。



# 「第13回北海道・東北地協薬剤師・薬局事務交流集会」に参加して

10月27日(土)～28日(日)にかけて、盛岡市 繋温泉ホテル紫苑で行われた「第13回北海道・東北地協薬剤師・薬局事務交流集会」に青森県連から19名が参加しました。2日間にわたり、各薬局・病院の状況や問題などを交換し合うとても貴重な機会でした。



二日目のポスター発表では、二十一日の演題が出され、フアルマ弘前薬局から中村薬剤師より「健康サポート薬局としての取り組み」という演題で発表が行われました。二日間の各事業所の発表を受けてのグループ討議では、様々な角度からの意見交換ができたことで今後の課題や改善が必要な部分が見えた充実した交流集会になりました。  
(フアルママツ谷薬局 / 安田佳乃)

一日目の記念講演は、講師に社会医療法人同仁会耳原総合病院理事長 斉藤和則氏をお招きし「病気の原因を何に求めるか（SDH(健康の社会的決定要因)を学ぶ）」について講演いただきました。講演より、SDHの視点から患者様の背景を知り、患者様に寄り添い活動していくことが大切であると学びました。今まで、民医連として活動してきたことがいかに大切であるかを改めて確認し、今後も積極的に活動していきたいと思

いました。指定報告では、健生病院の吉田真子薬剤師のHPH活動の報告ははじめプレアポイド事例、ポリファーマシーについてなどの四演題が発表され、どれも興味深い内容でした。



記念講演の様子

## 《第4回》全日本民医連救急医療研究会 in あおもり

救急医療とセーフティネット～We love 救急～をテーマに講演やパネルディスカッション

11月9、10日、弘前パークホテルを会場に開催し、17県連、21事業所から114名が参加しました。

この研究会は、全国の民医連救急医療関係者が2年ごとに一堂に会し、学習や経験交流を行う場です。初日はメインテーマ“救急医療とセーフティネット～We love 救急～”に基づいたパネルディスカッションを行い、京都府立医大救急医療学の太田凡教授よりご講演をいただきました。パネルディスカッションでは、健生病



院総合診療部の大高由美先生から外来でも実践可能な貧困スクリーニング法を、健生サポートセンター MSWの工藤聡子さんから救急診療での患者支援とアウトリーチ活動としての困りごと相談会のご報告をいただきました。2日目の分散会には、全国から70もの演題をご報告いただきました。研究会の開催に当たり、県連や法人をはじめ、各関係者の皆様から多大なご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(健生病院 医師/太田正文)



### 新院長挨拶

青森保健生活協同組合  
生協さくら病院院長 百成公美



生協さくら病院の院長の任務につくことになりました。よろしくお願ひします。普段から、一つ上位の役職になったつもりで考え、行動するよう訓練をすべしと、ビジネス書で読んだことがあります。とはいえ、存在が意識を規定するので、二番手は、どこか楽なところがありました。現実はその立場になり、名刺が変わり、会議が増え、朝礼で挨拶したりするうちに、その立場で思考し、行動するようになっていくようです。

民医連綱領、全日本、県連・法人の方針を羅針盤として、職員・協同組織の方々と協力して、医療活動、社保運動、平和運動などに取り組んでいきたいと思ひます。



大野あけぼの薬局  
事務

すぎやま  
年女 杉山 みどりさん

- 1 乗り物全般が苦手な私がプライベートでは行かないであろう九州・長崎へ原水禁世界大会の為に行き、過去の日本の出来事を学んだ事。
- 2 育児休暇から復帰して早くも半年、年女を迎えた今年も3人の子育てを頑張ります。



青森保健生協 組織部  
事務

かわむら こうへい  
年男 川村 耕平さん

- 1 イベントや行事の準備運営が多く驚きました。新しいことばかりで、楽しい毎日です。
- 2 誰からも頼りにしてもらえ職員を目指して、猪突猛進全力疾走で突き進んでいきます!



協立デイケア  
作業療法士

さいとう ちはる  
年女 齋藤 千春さん

- 1 後輩が増えたことで、入職してからいつの間にか多くの月日が経っていたのだと、改めて感じました。
- 2 昨年12月から協立デイケア主任になりました。より良いサービスが提供できるようスタッフと協力して頑張ります。



趣味 「ご朱印巡り」

3年前に息子のいる奈良を観光したときに、友達に教えてもらったのがきっかけで始めました。ご朱印帳はネットでも手軽に買えますが、自分の目で確かめたくて奈良のお店を何軒か見て歩き、お寺用と神社用と2冊購入しました。御朱印には、「参拝した日付」「寺社・寺院名」「参拝・奉納などの文字」と、それに加えて朱色で神社やお寺の「神紋・寺紋」が押印されます。御朱印は御神体・御本尊様の分身のようなものなので眺めているだけで心が癒されます。去年の2月は、三重県の伊勢神宮のお参りに行きご朱印をいただいたのですが、書体は象形文字のようでとてもシンプルで特徴的なものでした。先月はお金を洗うと何倍にも増えて戻ってくるといわれる霊水「銭洗水」が湧く銭洗弁財天宇賀福神社へ行きました。ここのご朱印の日付は、12月2日ではなく、師走二日と記されていました。

一昨年は最後はお戒壇めぐりをするので、極楽浄土が約束されると言われている長野の善光寺でお参りし、ご朱印帳に新たな思い出を刻むことが出来ました。奈良の談山神社から始まったご朱印帳の最後のページは何年後になるのか…どこをお参りしているのか…楽しみです。

(社会福祉法人 花/古川美賀子)



オススメ アロマテラピー

私のおすすめは、アロマテラピーです。(アロマテラピーとは、自然の香りを使って、心と体、生活に役立てていこうとすることを言います。)



自然の香りでリラックストリフレッシュトスプレーを作って気分転換をし、香りを含んだリップクリームやハンドクリームなど身近なものも手作りすることができます。頭痛や肩こりがつらいときも精油の香りが助けてくれますよ。私は自分の好きな香りを2~3種類ブレンドして楽しむときもあります。

時間に追われてバタバタしてしまったり、子どもにイライラしてしまったり、「もう疲れた!」という時も、ホワとした自然の香りでちょっと体がゆるむ、和む。そんな、心優しいセルフケアにおすすめです。

(青森民医連 青森事務所/神めぐみ)



機関紙  
編集部まで  
info@aomin.jp

投稿募集!!

職員の皆さんの  
オススメする  
本・映画・音楽・  
スポーツ・趣味  
なんでも紹介して  
いきたいと思ひます。

2019年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙

実は私は、〇〇です(〇〇を持っています)教えてください

応募の詳細は10面(裏面)をご覧ください。





生後2か月ぐらいの大きさの時に家の横で鳴いていたところを妻が保護しました。以前「なな」という猫を飼っていたので、「二代目なな」で「にいな」にしました。極度の人見知りで、お客さんが来ると物凄いスピードで押入れに隠れてしまいます。でも普段はおっとりで悪さもあまりしない、とてもいい子です。

(津軽保健生協 経理部/荒木関匡孝)

♥ name にいな ♥ age 3歳(♀)

# うちのメコッコ

vol. 49



我が家にはもう一人、同い年の「オレオ」という暴れん坊チワワがおりましたが1年前に病気で旅立ってしまい、今ではミルキーが家を守ってくれています。とても素直で従順な子…と言っておきますが、「腹撫でろ攻撃」や「美味しいものをくれるまで見つめる攻撃」、「遊べドロップキック攻撃」など多彩な技を持っています。夜寝るときになると素早く察知し、私の布団を占領し、くの字で寝ることを余儀なくされる日々が続いています。ちなみに妻は、大の字で寝ています。

(社会福祉法人 虹/對馬康文)



♥ name 對馬ミルキー ♥ age 9歳(♀) チワワ



## 日頃のご愛読・ご協力に感謝して \ 定期便で応募OK / 抽選で22名にお年玉プレゼント

図書カード 1等(2名)3,000円分 2等(5名)1,000円分 3等(15名)500円分

下の応募用紙を切り取り、必要事項を記入して定期便又は封書・FAXで青森県民医連青森事務所までお送り下さい。抽選の結果は3月号(3/15発行予定)に掲載いたします。

☞注意☜ 郵送する場合は事業所の封筒や切手の利用はご遠慮下さい。

2019年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙



### 機関紙「あおもり民医連」お年玉プレゼント係



必ず、下記と裏面も忘れずにご記入下さい。

事業所名

ふりがな

所属部署

お名前

応募×切/2019年2月13日必着 定期便・封書・FAXにてご応募下さい。